くすのき

横浜市立西本郷中学校
横浜市栄区小菅ヶ谷 1-29-1
Tel 045－892－1911

第４号　令和８年７月 17 日

「気づくこと・感じること・行動すること」

副校長　鳥飼 真人

令和8年度がスタートし、4か月が過ぎようとしています。修学旅行、体育祭、自然教室、生徒総会等大きな行事を実施してきました。行事を実施するまでの様々な準備、運営、振り返りまでを生徒が主体となって活動する様子が多くみられ、たいへん素晴らしく感じています。

自然教室では生徒たちが豊かな自然の中で多くの学びを得ることができました。今回の活動を通して改めて大切だと感じたのは、「気づくこと」「感じること」「行動すること」です。自然の中では、普段何気なく見過ごしている草花や虫の姿、天候の変化、仲間の様子など、さまざまなことに気づく機会があります。そして、その気づきを通して自然の美しさや厳しさ、仲間と協力することの大切さを感じることができます。さらに、困っている友達に声をかけたり、自分の役割を果たしたりと、自ら考えて行動する姿がたくさん見られました。一方で、ルールやマナーを守れなかった場面もありました。

各学年、各行事を通じて、様々なことに気づき、感じて行動してきたと思います。「気づき」は学びの入口です。その気づきについて考え、人とお話をすることで「感じること」が深まります。そして、深く感じたことは、自らの行動を変える力となります。今後においても『気づくこと』『感じること』『行動すること』を実践しながら、一人ひとりの成長につなげていきましょう。

夏休みに入ります。例年、夏休み期間において中学生による事故や事件が報道されております。長期休みは大人でも不安に思うことがあります。中学生においては思春期も重なり、とても多感な時期です。自分自身の変化に「気づく」ことは難しいことかもしれませんが、心と身体の変化は必ず起きます。その時に一人ではない自分に気づくことができるように自分自身が感じていることをぜひ、誰でもよいので話をしてほしいと思っています。身近にいる人へ話をすること、また友人の変化に気づき、声を掛け合うことで、心や身体の安定につながるかもしれません。それぞれの立場でできることを考え、「行動」していきましょう。

ご家庭におかれましても、健康と安全に十分留意され、実り多い夏休みをお過ごしください。地域での体験や家族との時間の中で、子どもたちには多くのことに気づき、感じ、自ら行動する機会を積み重ねてほしいと願っています。そして2学期には、ひと回り成長した姿で学校に戻ってくることを楽しみにしています。